

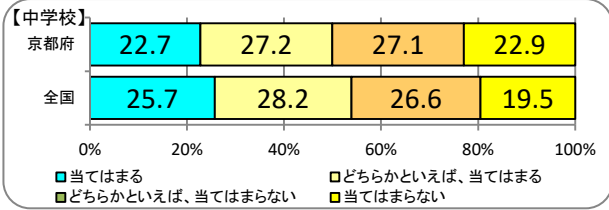
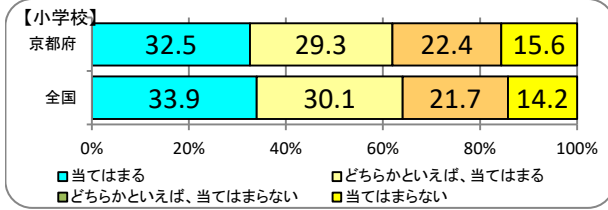
2 児童生徒質問紙の調査結果について

(1) 算数(数学)への関心等

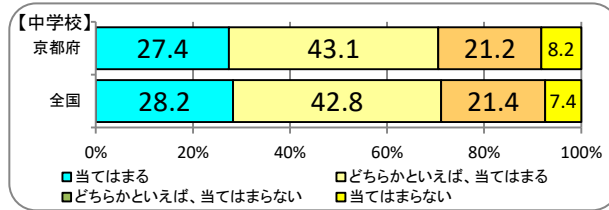
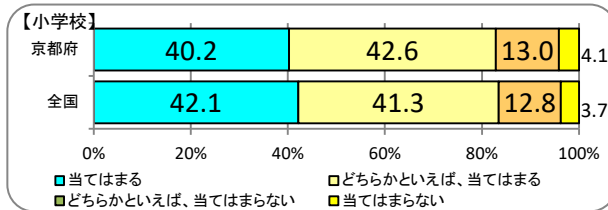
京都府のデータは京都市を除いています

Q1～5は便宜上の番号であり、実際の質問番号はP52参照

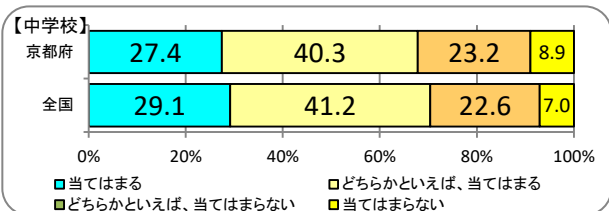
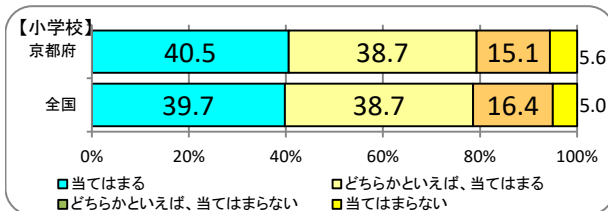
Q1：算数(数学)の勉強は好きですか。



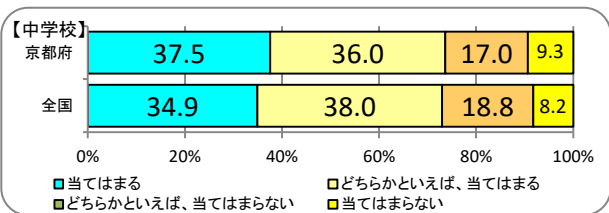
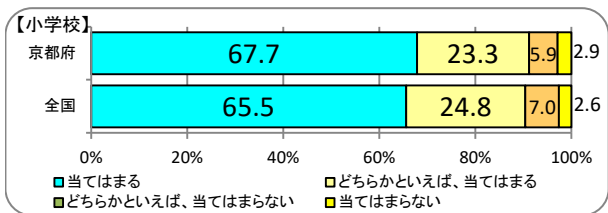
Q2：算数(数学)の授業の内容はよくわかりますか。



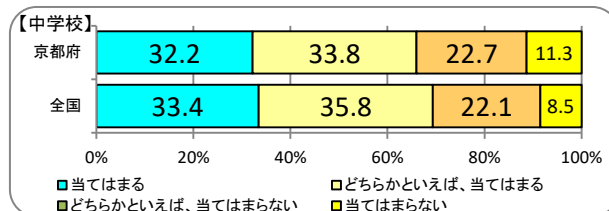
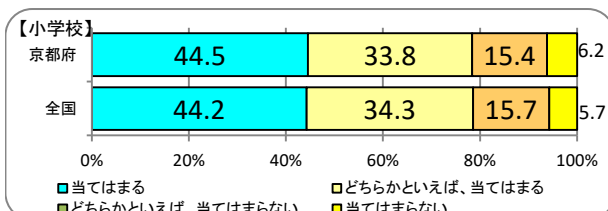
Q3：算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。



Q4：算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。



Q5：算数(数学)の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。



分析 肯定的回答の割合を見ると、Q1「算数(数学)が好きである」は、全国平均よりも低く、京都府は各教科の勉強が好きである児童生徒数が、全国平均よりも少ない状態がここ数年続いている。Q2「算数(数学)の授業はよく分かる」も小中学校とも全国平均よりやや低い。Q4「将来、社会に出たとき役に立つ」は、小中学校とも全国平均よりはやや高い。